

ひろしまマイスター
安芸郡 今朝丸 真さん



けさまるまこと・呉市出身
1992年技能五輪全国大会(曲げ板金)優勝
1993年技能五輪国際大会(曲げ板金)第3位
2012年ひろしまマイスター認定

■ 技能五輪 世界へ挑戦

工業高校ではなく高校は普通科を卒業して、マツダ株式会社に入社しました。新入社員の導入教育時に、技能五輪教育訓練課程の指導員から技能五輪の選手候補として誘われ、「全国大会で優勝して海外に行ってみたい!」「自分がどこまでできるか試してみたい!」と思い、挑戦してみることにしました。

オリンピックがスポーツで競うように、技能五輪は、物をつくる技能を競う大会です。ルールや制限時間、評価基準によって、物を製作して、その製作物を評価、点数化して順位が決定します。



一枚の金属板から板金加工で作った5分の1スケールのRX-8
技能五輪選手や訓練コーチが共同で製作

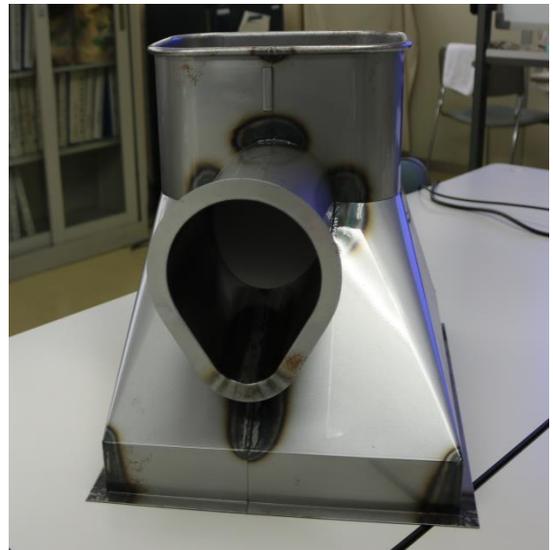


後輩の訓練を見守り、アドバイスする今朝丸さん



■曲げ板金職種

私達が出場している曲げ板金職種は、与えられた図面を元に、金属の平板から立体の作品を製作します。図面の読解、展開図を描く作業、金属の板を切ったり、叩いたり、それをさらに繋ぎます。昨年の全国大会の課題は、ダクトの分岐(写真)で、3か月前に課題発表があり、選手とコーチが二人三脚で練習を重ね、大会に臨みます。



昨年の全国大会の課題

■悲願だった夢を叶えてくれた！

技能五輪は年齢、資格制限があって、国際大会が22歳以下という決まりがあり、国際大会に出場するには、全国大会を21歳までに優勝する必要があります。

入社1年目の1991年に、広島県代表として初出場し全国大会の曲げ板金職種で銅メダルを獲得。その翌年には優勝し金メダル、またその翌年には日本代表選手となり国際大会で第3位銅メダルを獲得しました。その後、コーチとして技能五輪に出場する選手を指導し、2007年に静岡で行われた国際大会では秀島巧選手が優勝し、金メダルを獲得してくれ、悲願だった世界一の夢が叶いました。1996年からコーチとなり、選手の育成にあたっておりましたが、現在はコーチの座を後進へ譲り、アドバイザーとして選手やコーチを見守っています。



1992年に出場した技能五輪全国大会。



2007年技能五輪国際大会エキスパートとして参加。金メダルを獲得した秀島選手(右端)。

■技能五輪を経験して

若いときに、技能五輪優勝を目指して濃密な時間を過ごしたからこそ、今の仕事をするうえでの、踏ん張り、問題解決する力が備わったと思います。

また、2007年の国際大会から5大会連続で曲げ板金職種のエキスパートとして企画・運営・審査に携わり、海外へ行く機会が増えました。それをきっかけに、旅先で世界遺産の建物の材質や構造を見て回るのが好きになりましたね。



かつて指導した後輩は、コーチとなって選手を育成。

ひろしまマイスターへ、4つの質問

Q1曲げ板金の魅力は？

自分の描いたものを自分の手で自由自在に作ることができる。

Q2曲げ板金作業で難しいことは？

完璧なことを想像して、工程を制限時間内で全てやりきること。

Q3曲げ板金作業をしている若い方へ伝えたいことは？

やっている時は大変だけど、あとから「やって良かった！」と思う時が来るので、最後まで諦めずにやり抜いてください。

Q4ストレス解消法は？

ストレスはないですね(笑)。技能五輪を経験したことで現在の仕事で問題があっても、解決していく力が身についたと思います。



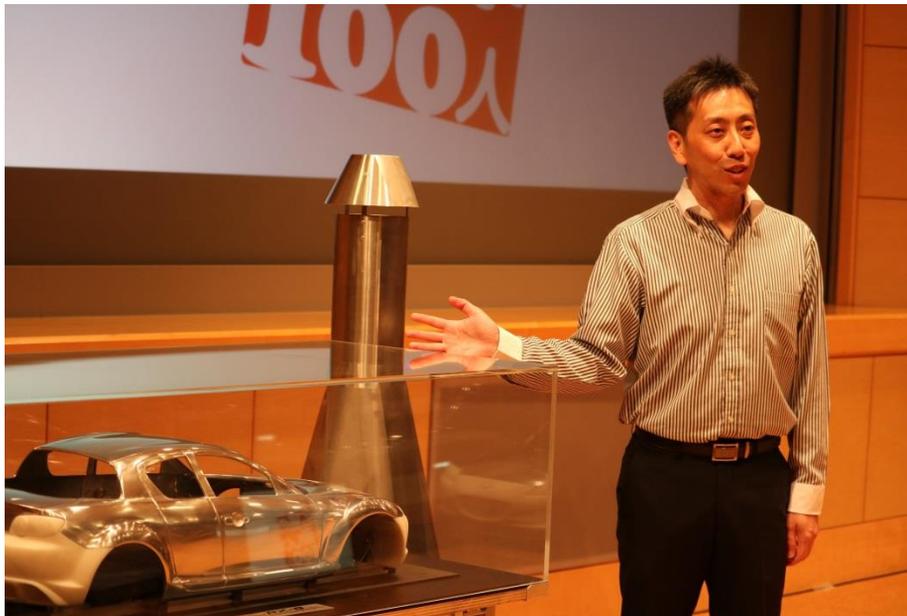
↑上図 けがき作業 ↓下図 曲げ作業



↑上図 伸ばし作業 ↓下図 絞り作業



若い選手たちは、黙々と訓練をこなす。耳栓が必需品。



トークイベントで曲げ板金の魅力を紹介。

(第17回「広島の楽しい100人」ひろしまマイスター、ものづくり職人特集 平成29年5月20日)

同僚が思う「今朝丸さんのここがスゴイ！」

- 1 物事をきっちり組み立てて、手順・段取りを抜かりなく計画し、的確な指導ができる。
- 2 厳しい指導。あまりほめられなかったが、「悪くないのう」が最高の褒め言葉だった。指導者として、厳しいけど真剣に向き合ってくれた。
- 3 国際大会のエキスパートをされていたので、海外へのネットワークがすごい。